

心に残る文化財子ども塾 松江市立法吉小学校

1. 活動の概要

7月9日(木)、松江市立法吉小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。法吉小学校周辺の遺跡や埴輪について学習し、体験活動に「はにわ作り」を実施しました。初めに、学習の全体の流れを説明したのち、近隣地域の遺跡について解説を行いました。その後、埴輪や関連する遺跡の解説をしたのち、はにわ作りを行いました。

埴輪の作り方の手順をスクリーンに映しながら説明したのち、埴輪の製作を始めました。説明した作り方は人物埴輪の例でしたが、作品のモチーフを自由に決めてほしいと考え、配布したプリントには様々な形象埴輪の例を写真で掲載しました。製作が始まると、児童たちは多様なポーズの人物埴輪をはじめ、魚・蛇・馬などの埴輪を自由に作っていました。実施場所の体育館は気温・湿度が高く、使用していた粘土が自然と柔らかくなってしまいやや造形しにくい様子もありましたが、最後まで集中して製作を行うことができました。

授業中に見学できるように、法吉地区から出土した考古資料を展示しました。普段は博物館の展示ケース越しにしか見られない様々な資料を間近にして、児童たちは興味深そうに展示を眺めていました。

2. 活動の様子

1)学校周辺の遺跡について学ぶ



「学校の中にも古墳があることを知っていますか？」



校区内で出土した遺物を「移動博物館」で展示

2)はにわ作り体験



全員ではにわ作り挑戦！



「どんなはにわにしようかな？」



頭を載せると、はにわらしくなってきました



「カッコいいはにわが出来た」

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- 法吉地区にはいっぱい古墳とかがあるんだとおもった。
- はにわ作りで、工夫して形をきれいにできた。
- ねん土をこねたりするのが、楽しかった。
- たくさん形のはにわを作ってみたい。
- 発くつ体験をしてみたい。
- 私は、はにわを作るのが初めてだったので、ドキドキしながらやると、楽しかったです。
- 先生のせつめいがわかりやすくてやりやすかったから楽しかった。
- むらさき水しょうのまがたまの実物がみてみたい。

2) 担任の先生から…

- これから進めていく歴史学習や自分たちの暮らしている地域について興味・関心をもつきっかけとなった。
- 実際に出土品を持ってきてくださり、さらに興味がわいてきました。

3) 埋文センターから

多くの児童たちが、個性を活かした埴輪を製作することができました。また、分からないところや難しいところは小学校の先生方や埋文センター職員へ積極的に質問し、自発的に活動に取り組んでいました。